

～ 研究に関するお知らせ ～

横浜医療センター脳神経外科では、下記の研究を行います。

「右前方循環領域の超急性期脳梗塞に対して右上腕アプローチでの機械的血栓回収術の有用性」

この研究は、条件を満たす患者さん全員を対象といたします。情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、最終ページに記載のお問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

■ 研究の対象となる患者さん

2023年9月1日から2024年7月31日までに当院脳神経外科で右前方循環主幹動脈閉塞に対して血栓回収術を行った患者さん

■ 利用する試料・情報の種類

上記の対象期間中に、診療録に記録された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報は厳重に保護した状態で行います。

■ 研究の概要

- 研究の目的及び意義
昨今広く普及している超急性期脳梗塞に対しての血栓回収療法最適化のため、アプローチ部位の再考
- 研究の期間
倫理審査委員会承認日～2025年3月31日
- 研究の方法
対象となる期間に行った血栓回収療法のうち基準に該当する患者さんに対して振り返った形でデータを解析します。
- 外部への情報等の提供、個人情報等の取り扱い
この研究で得られた情報は、患者さんを特定できる情報（氏名、住所、電話番号等）は記載せず、本研究固有の症例番号（症例毎に採番）にて管理します。症例番号とカルテ患者ID等の対応表データを別途作成します。作成する対応表データはパスワード保護の上、研究責任者が厳重に管理します。

この研究の成績をまとめて学会発表や学術論文として公表されることもありますが、

いずれの場合も患者さんの名前等の個人的な情報は一切公表されません。また、この研究で得られたデータが、この研究の目的以外に使用されることはありません。

- 研究の資金源

本研究は、資金を要しない研究です。

- 利益相反に関する状況

本研究における、開示すべき利益相反は特にありません。

※ 臨床研究における利益相反とは

「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

■ 研究の実施体制

研究代表者：野田尚志	横浜医療センター	脳神経外科	医師
研究分担者：宮原宏輔	横浜医療センター	脳神経外科	部長
谷野慎	横浜医療センター	脳神経外科	副部長
瓜生康浩	横浜医療センター	脳神経外科	医長
田中悠介	横浜医療センター	脳神経外科	医長
鈴木幸二	横浜医療センター	脳神経外科	医師
関口徳朗	横浜医療センター	脳神経外科	医師
舩津屋来紗	横浜医療センター	脳神経外科	医師
土持壮登	横浜医療センター	脳神経外科	医師

■ ご質問等について

本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

<お問い合わせ先>

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター

脳神経外科 医師 野田尚志

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2

電話 045(851)2621 (代表) ※平日 8:30~17:00